

拠点名称：紀南オープンフィールド構想によるみどりのアントレプレナー共創拠点

代表機関	三重大学	プロジェクトリーダー	岡島 賢治 三重大学 大学院生物資源学研究所 教授
参画機関	鳥羽商船高等専門学校、京都大学、京都先端科学大学、三重県、熊野市、御浜町、紀宝町、株式会社三祐コンサルタンツ、株式会社FIXER、株式会社クボタ、株式会社ZTV、株式会社プロキッズ、有限会社すぎもと農園、株式会社かきうち農園、株式会社オレンジアグリ、御浜土地改良区		

プロジェクトの概要

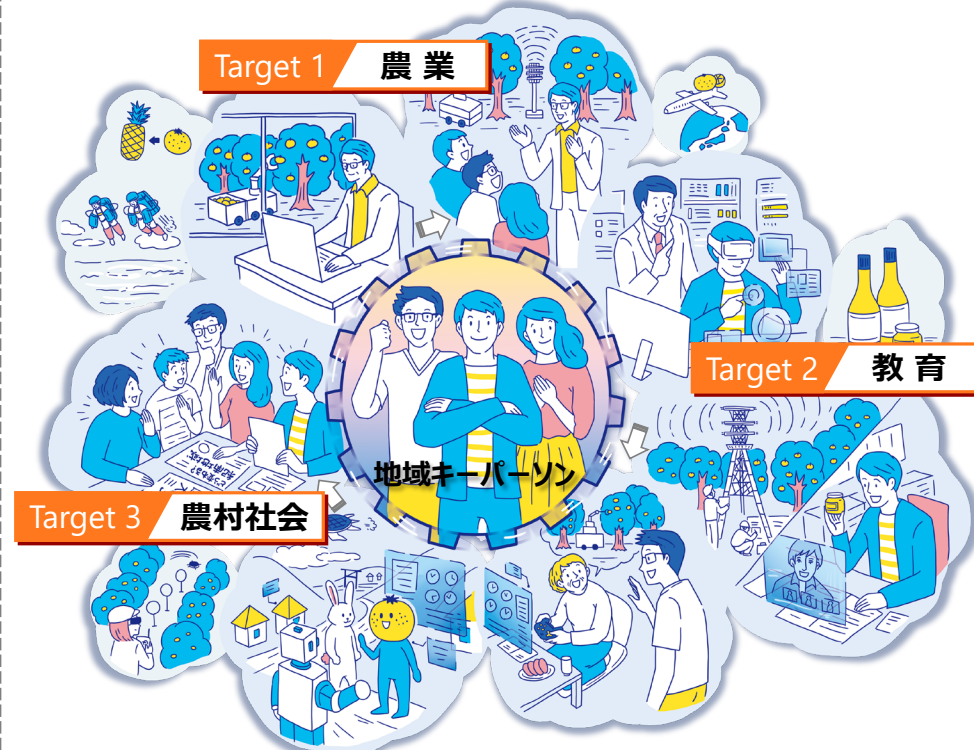
【地域拠点ビジョン】

本拠点では、多様な若者が三重県紀南地域に集い、紀南地域をフィールドとして学ぶオープンフィールドと、自ら描いた将来像に向けて挑戦しそれを実現させるアントレプレナー共創の場の形成を目指す。この提案におけるオープンフィールドとは、先進技術を活用しながら斬新な発想を持つ若者と、地域住民が議論を重ねてイノベーションを展開する農村社会であり、若者たちが先進技術に関わる基礎的な教育から専門教育までを学ぶことができる教育の場と、魅力的な就職先として先進技術が展開される農業の場である。また、このオープンフィールドでは、現実と仮想空間が融合しながらも人とのつながりを感じる新たな農村社会が再構築され、若者たちはその中で地域課題を解決し、自らの将来像を描いていく。

【ビジョン実現のための3つのターゲット】

- ターゲット1：常に最新技術が導入され、新たな仕事が創出され続ける開かれた農業の場
- ターゲット2：開かれた紀南地域に魅力を感じ、国内外で活躍できる若者が集う教育の場
- ターゲット3：将来像に向けてオープンイノベーションが展開される農村社会

紀南地域におけるオープンフィールドの自走化



紀南地域の持続可能な農業や自然環境の美しさ、歴史・文化の深みを「みどり」と表現し、この「みどり」に関する起業に挑もうとする地域人材を「みどりのアントレプレナー」と定義